

■ 教育目的

環境衛生、食品衛生関連の公的研究所などの施設における業務内容を学び、また、その業務内容を実際に経験する。環境・食品衛生関連分野の検査、試験法の原理と意義、検定業務の実際を修得することにより公的研究機関などにおける衛生関連分野の業務内容について問題解決能力を養うを行うとともに就業体験を行う。

■ 学習到達目標

1. 環境衛生、食品衛生関連の分野の試験研究機関などの業務内容を理解する。
2. 専門分野の研究内容を理解し実験方法・技能を習得する。
3. 調査・研究に対する態度を習得する。
4. 成果のプレゼンテーションを行い、質疑応答ができる。
5. 成果を報告書や論文としてまとめることができる。

■ 準備学習（予習・復習）

予習：実験の課題に対し配布したプリントや論文等を精読し、実験指導者と打ち合わせしておく

復習：実験結果を踏まえ考察を加えて、実験指導者、担当教員とディスカッションをする

■ 授業内容

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	事前学習・演習	公的研究機関の業務及び研究内容の予習、研究機器のオペレーターの習得、PC 講習	
2	実習	11 週間の各調査・研究施設での調査・研究 中間に経過報告会	
3	事後学習	研究報告会、研究論文の提出	

■ 授業分担者

石井 一行（責任者）、兎川 忠靖、日堂 修、鈴木 俊宏、服部 研之、大山 悦子

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

実習の出席状況（60%）、客員講師の評価（20%）、報告会（10%）、実習報告書（10%）で総合評価する。